

Dr. 板東のメディカルリサーチ No. 237

〈人間か？ 確認される 時代すぐ〉

「Are you human? (あなたは人間ですか)」と、近い将来チェックされる時代が来るかも。いまAIの発展が進み、「Orb」というスキャン装置を紹介したい(図1)。これは球体型のデバイスで、利用者が目の虹彩(iris)をスキャンすると、独自の「iris code」(世界ID)を生成。目的は、その人物が「ロボットではなく特定の人間」と証明するためだ。



〈近未来 識別AI エージェント〉

何故、こんなことが必要なのか？ 未来映画の世界が現実となり、AIエージェントがさらに高度化していく。すると、「本物の人間だけ」を識別する必要性が生じることに。虹彩スキャンで人間を確認し、暗号通貨を通じて報酬を与え、ネット上で「人間である」と証明する先鋭的なインフラを目指すという。このユニークな構想は、生成AI時代を牽引する起業家サム・アルトマン氏による。OpenAIの将来を見据えて既に数千万のユーザーを集め、この「Worldアプリ」は金融機能との連携も進行中。現在はプライバシーや倫理、法的課題のため賛否両論で、今後の展開は技術・規制・社会受容に左右されるだろう。

〈オーブ(orb)とは 球体の意味 オービス(orbis)も〉

そもそもorbとは球体や天体(太陽・月)を意味しており、比喩的に眼球や瞳なども表現する。一方、関連する言葉として、orbisは円や円周、輪、球体、世界を指す言葉で、中世・ルネサンス期には、地球や宇宙を象徴していた(図2、3)。



聞いたことがあると思われるが、オーブとは写真や映像に「光の球」が映り込む現象で、科学的には塵・水滴・昆虫・レンズの反射による光学現象と説明される。超心理学の領域では、エネルギー体と解釈される(図4)。オービスとは警察の取り締まり等で、スピード測定器とカメラを組み合わせた速度違反自動取締装置のことだ。



〈小宇宙 スキャンで展開 大宇宙〉

この機器がOrbと命名された背景を説明しよう。Orbとは触れられる球体をイメージし、玉や宝珠(ほうじゅ、図5)などを含む。他方、orbisは世界や循環の円環をイメージし、地球や人生、宇宙の秩序を重視する。瞳のスキャナーは両者を含み、「物理的な球体(装置)+眼球(orb)+世界をつなぐ(orbis)」という多層的な意味合いが込められている。

AI技術は人の生活や哲学、価値観を激変させる。人体は小宇宙に例えられ、DNAは丸い螺旋構造だ。太陽系に含まれる地球や他の惑星は丸い軌道で公転し、地球は1年で1周する。同様に、太陽系も銀河系の中心を公転し、約2.5億年で1周。最近の報告で、地球上で発信された電波が宇宙の遠くまで到達していると判明し、宇宙人が地球の場所を特定できるという。AIは人間の友となり大宇宙への道しるべを開いてくれるのか？ はたまた、地球の支配者となりつつあるのだろうか？

(板東浩、医学博士、糖尿病専門医)

語源は共通: ラテン語 orbis

日常的なorb



球体そのもの
(物理的・具体的)

太陽、月、眼球、宝珠、
球形の装置
(例: Worldcoin Orb)

科学、文学、技術、
一般会話

形が丸いことを重視
(具体的対象)

超心理学的orb
(オーブ)



空中や写真に現れる
発光体(霊的・超自然的とされ)

心霊写真に写る光の玉
空間に浮遊する光球

超心理学、ニューエイジ
心霊研究

超自然的な存在・霊的
エネルギーとして象徴化